

総合運動公園で7大イベント まるごとフェスタ北上

まるごとフェスタ北上2009は13日、北上総合運動公園で開催されました。時折雨に見舞われたものの、多くの職場仲間や家族連れなどでにぎわいました。

北上生まれ北上育ちの「きたかみ牛」を炭火で楽しめるきたかみ牛まつりは、昨年までの黒べこフェスティバルの名称を変更。当日限定販売のヒレスステーキをはじめ、用意した約1300セットの「きたかみ牛」を堪能していました。

消防フェスタ2009では、はしご車の搭乗など体験コーナーが子どもたちに大人気。順番を待つ親子が列をつくっていました。放水体験をした池田千歳ちゃん(大通り・6歳)は「本当の消防士になりたくなった。楽しかった」と喜んでいました。

このほか健康まつりや障がい者福祉展、消費生活展、環境展、K.N.F産学民官連携フェアが行われ、各会場は多くの人で盛り上がりを見せていました。



(上)時折の雨にもかかわらず、「きたかみ牛」を堪能した皆さん(きたかみ牛まつり)・(下)歯科検診を喜んで受けていました(健康まつり)・(右)環境に優しい電気自動車に乗り、「お父さん運転するね」と言っているのかな?(環境展)



大勢の観客でにぎわう みちのく民俗村まつり

第18回みちのく民俗村まつりは5日、立花の同園内で開かれました。まつりは川岸かっぱ太鼓の勇壮な公演で開幕。保育園児らによる芸能公演や、昔ばなし会、餅つきなどがにぎやかに催されました。

村長トークでは、相澤史郎村長が西馬音内盆踊り保存会のお二人を迎え、上方風の美しい踊りと彦三ざきんと呼ばれる黒い覆面など、独自の衣装について語り合いました。続いて同盆踊りが披露されると、一目見ようと大勢の観客が詰め掛け、にぎやかで勇ましいおはやしと優雅で流れるような舞に酔いしれていました。



にぎやかなおはやしと優雅な舞を披露した秋田県羽後町の西馬音内盆踊り



買い物客に啓発チラシを配るアクセス
車イスのメンバー

車イス駐車場正しく使って 車イス駐車場啓発活動

特定非営利活動法人アクセシブル北上(筑後久典理事長)は8月30日、江釣子ショッピングセンター・パルで車イス利用者の専用駐車場を正しく使ってもらうと啓発活動を行いました。同法人メンバー10人が参加し、店舗入り口付近3カ所で、啓発チラシを買い物客らに配布。専用駐車場の必要性和正しい利用をアピールしました。

同法人高橋俊肥考副理事は「障がい者以外の人が利用していて困っている。必要としている人のことを考えてほしい」と訴えていました。

鬼剣舞の振りを変えながら鬼柳鹿島太鼓史を表現した鬼柳鹿島太鼓



威勢のいい音が響き渡る 創作太鼓フェスティバル

第9回全日本創作太鼓フェスティバル(千田芳紀実行委員長)は5日、岩崎城運動公園で開催されました。県内外から11団体が出場し、北上からは鬼柳鹿島太鼓が鬼柳町の歴史を5段階に分けてイメージした曲目「お・に・や・な・ぎ」を披露。佐藤明代表は「90点以上の出来」とメンバーをたたえました。

各団体は力強いばちさばきに威勢のいい掛け声で、迫力ある演奏を披露。会場に詰め掛けた熱心な太鼓ファンは、個性豊かな太鼓の競演に盛んな拍手を送っていました。

旬のおいしさ召し上がれ 二子さといもの出荷開始

北上の秋の味「二子さといも」の初出荷式は3日、J Aいわて花巻二子さといも選果場で行われました。生産関係者や農協関係者などが参列し、テープカットや二子保育園児による鬼剣舞の披露で出荷を祝いました。今年は春先の降水量が例年より少なく、さといもの生育状況が心配されましたが、7月中旬から8月下旬にかけて生育に適した天候が続いたため、昨年以上の収量が期待されています。

初出荷された2トンのさといもはトラックに積み込まれ、県内外の市場に向け出発しました。



初出荷のトラックを見送る生産者や農協関係者

小学生のアイデアに脱帽 児童生徒発明くふう展

北上市少年少女発明クラブ(佐藤敏英会長)は5、6日の両日、江釣子ショッピングセンター・パルで第14回北上市児童生徒発明くふう展を行いました。同クラブの小学生が製作した30点のほか、ジャンボ万華鏡など一工夫したおもちゃを展示しました。

6日には表彰式が行われ、金賞7点、銀賞12点、銅賞12点を選出。佐藤会長は「子どものアイデアが第一だが、家庭でも地域でも何ごとも経験する機会が不足している。家庭とクラブが協力して、子どもの成長を見守っていききたい」とあいさつしました。

金賞に輝き賞状を高らかに掲げる佐々木翔真くん(中央)



練習を積み重ねた伝統芸能を発表する生徒たち

日ごろの練習成果を披露 江釣子中芸能発表会

市立江釣子中学校(木村利光校長)は8月23日、同校体育館で第32回芸能発表会を行いました。生徒355人が地区ごとに分かれ鬼剣舞や神楽、田植え踊りなどを披露。訪れた父母などは、元気いっぱいの舞に盛大な拍手を送っていました。

開会式で、三田勇人生徒会長(3年)は「今日は、練習の成果を発揮し、最高のパフォーマンスを見せましょう」とあいさつしました。発表会は、地域との交流と民俗芸能を継承する心を養おうと開催。練習は地元住民らが6月から指導しました。